

D-STAR・DD モードでインターネット

JJ1SXA 池

D-STARは、JARLが推進してきた、デジタルモードの通信方式で従来のアナログ方式とは一線を画す？通信方式ですが、まだメジャーでは無いようです。

インターネットを利用するVoIP無線も、eQSO、Wires、echolink、IRLP等は一般的な通信方式として普及していて、私もIRLP以外は運用しています。

D-STARが一般的では無いのは、私個人的に理由を考えると、第1番に、使える無線機の機種が少なく、かつ高価、2番目は、購入してきて、電源を入れれば即QSOできる従来の方式とは少し違って、一寸面倒な？設定をしないとイケないといった側面があること等で敬遠され、結果運用する局が少ない、相手が少ないといった悪循環で普及が遅いのでは無いかと推測しています。

新しいことには直ぐに挑戦してみたいと思っている、かくいう私も、上記理由で敬遠してきましたが、CQ誌8月号の別冊付録を読んでいたら、急にやってみたいとの欲求が沸き、無線機を衝動買いしました、本当は、50MHzの無線機を新しくしようと計画していたのですが、またまた当分の間、固定局ではTS670、モバイル機はTR9300が主役の座を保ちそうです。(古いが故に愛着も一入ですが、それにしても古い・・・)

今度のリグは使いこなせれば良いが、そうで無いと高い買い物ながら、これからの時代はデジタル通信もメジャーになるであろうとの思いで購入してしまいました。

ご存知のとおり、D-STARには、DVモードとDDモードの使い方があり、ID-1にはFMモードもあります、FMモードでラグチューするだけなら、何もD-STAR機でなくても良いわけですから、DVモードとそれよりもDDモードを大いに活用してみたいとの欲求から、機種も1200MHz帯のデジタル無線機ID-1に決ってしまいました。

私のマストトップに上がっている144/430/1200MHzの3バンドGPでも、西東京市のスカイタワーにアンテナが建っている西東京レピーターが良く受信できます。

DVモードで西東京レピーターに出てくる局を少しワッチして雰囲気が出たので、早速DDモードの設定、PCのインターネットプロトコル・TCP/IPのプロパティで、IPアドレスはJARALに機種登録をして付与された10.1.30.57、サブネットマスクは255.0.0.0、デフォルトゲートウェイは西東京レピーターの10.0.0.15、DNSサーバーのアドレスにも10.0.0.15を打ち込んで、後は、「UR」欄にJP1YIX、「RPT1」欄にJP1YIW、「RPT2」欄にJP1YIX Gを入力し、「MY」欄にJJ1SXAを入力、LANケーブルでリグとPCをつなぎ1290.625MHzにダイヤルを合わせて設定完了、「TXinh」を押して送信禁止解除でゲートウェイ局との間を無線LANでインターネットに接続できました。

速度は実質80Kbps位で、普段使っているブロードバンドに比べればずっと遅いが、PHSやISDNよりは少し早いようです、レピーター局(ゲートウェイ局)にアクセスできれば、そこがアクセスポイント、リグからの電波で無線LANがOK。(Aug,'07記)